

基礎教育の充実と支援—経営学部での学修とその方法

経営学部長 後藤 伸

神奈川大学経営学部は、学部の設立理念を反映して、経営学部国際経営学科の名称のもとに一学部一学科編成とした。教育実践として21世紀型の大学教育を目指して種々の努力を行う一方で、研究・教育のテーマは広く「国際経営」と呼ばれる多様な領域の解明におかれることとなった。そのために、現代ビジネス社会の新たな問題領域の発見・開拓と、新しい学問体系の研究・教育を行うことが学部の使命となったのである。

経営学部は、学部の教育目的を「経営に関する専門知識を基礎に、国際社会の各分野で臆することなく活躍できる指導的国際人を育成すること」と定め、そのための適切な教育課程の編成とその効果的な運営を図ることとした。しかも、国際社会が、時代の変化とともに複雑多様となればなるほど、多彩な授業科目や教育プログラムを創設するとともに、必要に応じてその内容はダイナミックに改編整備されなければならない。

経営学部では、科目履修上の特徴をそれぞれにもつ5つのコース、すなわちマネジメント、会計、経営環境、国際コミュニケーションおよびスポーツ&マネジメントの5コースを設置して、学生の多様な学修目標の達成を支援する制度設計とその運用を行っている。学生は、学部4年間で実に多種多数の科目を履修し、所属ゼミナールを通じて課題レポートや卒業論文の作成に取り組まなければならない。

学生一人ひとりの学修状況に適合した効率的な教育指導を確保するため、各種の教育プログラムを開設するとともに、キメの細かい学修サポートを行っている。とりわけ「国際経営」の基礎知識や基本的考え方に関する学生の理解力を高めることで、経営学部の学士課程教育の質を全体として保証する必要があると考えている。本学部では、このような教育方針に基づき、国際経営基本用語集や国際経営教育モノグラフなどを編集し発行している。

この度、学生の学修の基盤をなす経営学部での学修のあり方とその具体的・実践的な方法について、本誌No.5に特集「経営学部での学修とその方法」として掲載し学生の机上に届けることとした。内容は、大きく①学問研究の魅力と経営学部での学修方法、および②外国語修得の喜びとその実践的方法、の2部17章で構成されている。いずれも分かりやすい記述と示唆に富む有益な内容となっている。

学生のみなさんには、自らが選択した神奈川大学経営学部での4年間を充実したものとするために、意欲的・創造的に学修に取り組むことが強く求められる。そして、卒業時に自信をもって学士(国際経営)の学位を取得し、一人ひとりの個性ある人生を選択することを期待している。本号が、学修面での実力を培うための手引書として活用されることを願っている。